

## 第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会が開催されました

第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会が、令和6年9月19日（木）ライトキューブ宇都宮で、「とち乙女♡から広げよう！未来を担う地域防災の力」をテーマに、全国から約3,200人が参加して開催されました。

女性活性化大会は、全国の女性消防団員が一同に集い、日頃の消防活動や先進的な取り組みについてアピールするとともに、意見交換や交流を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的とし、総務省消防庁、公益財団法人日本消防協会、公営財団法人栃木県消防協会、第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会実行委員会が主催、栃木県と宇都宮市が共催して開催されました。

開会式では大会旗入場の後、開会宣言、国歌斉唱、池田総務省消防庁長官、秋本敏文日本消防協会会長の挨拶に続き、塚田とちぎ大会実行委員会委員長（栃木県消防協会会長）、開催地栃木県の福田知事、佐藤宇都宮市長の挨拶がありました。

その後、活動事例発表として、岐阜県可児市消防団、栃木県宇都宮市消防団、京都府京都市山科消防団、青森県弘前市消防団、愛知県瀬戸市消防団、の計5団の発表がありました。どの発表も素晴らしくそれぞれ工夫をされており、大変感銘を受ける内容でした。

その他、それぞれの団での活動や工夫している事や物品等をまとめて展示するPR展示が会場に設置され、見学された皆様は写真やメモを取る等、今後の活動の参考にされていました。

記念講演は、吉本興業に所属されている大島美幸氏で「とちぎ×女性活躍社会×消防」をテーマにご講演いただきました。会場の皆様は頷きながら聞き入っておられました。

お昼からの防火防災啓発劇では、和歌山県紀の川市消防団、香川県善通寺市消防団の計2団の発表があり、パネルディスカッションでは、コーディネーターは日本消防協会秋本会長、パネリストは、青森県弘前市消防団、栃木県宇都宮市消防団、愛知県瀬戸市消防団、岐阜県可児市消防団、京都府京都市山科消防団の皆様でディスカッションをされました。

閉会式では、大会宣言が朗読され、満場の拍手で承認されました。続いてお礼のことばの後、「大会旗」が栃木県消防協会会長から日本消防協会会長に、そして次期開催地の長崎県消防協会会長へ引き継がれ、会長の挨拶の後、閉会宣言により大会は締めくくられました。

滋賀県からは、今井消防協会会長をはじめ、10消防団の女性消防団員や団長等、約49名が参加し、活動事例や防火防災啓発劇など他の消防団の取り組み等を熱心に学ぶとともに、全国各地の女性団員との交流を深めました。





